

令和3年10月15日

保護者各位

鳥栖市立田代中学校
校長 西村 茂樹

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学）
※平成31年度(令和元年度)より、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国の平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率をやや下回っていました。
- ・領域としては「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、観点としては「言語についての知識・理解・技能」の項目が全国の平均正答率を上回っていました。特に漢字の読み書きについては、1年時から行ってきた「すくすくテスト」と称する小テストの取り組みなどの効果がうかがえました。
- ・無解答率も全国の平均正答率を下回るものがありました。漢字の読み書きについての無解答率は特に低く、高い正答率につながっていると思われます。
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使う問題や文章に即して漢字を正しく読む問題は、全国の平均正答率を上回っていました。話し合いの話題や方向を捉えて話す内容を考える問題については、課題が見られました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率をやや下回っていました。
- ・領域ごとに見ると、「図形」「資料の活用」の一部では、全国の平均正答率を上回っていました。具体的には、扇形の中心角と弧の長さや面積との関係、与えられたデータから中央値を求めることについては定着がうかがえました。
- ・無解答率については、全国の平均正答率より高い傾向があり、基礎的・基本的な事柄の定着や書こうとする意欲をもつことに課題が見られました。
- ・資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて判断理由を説明する問題や、事象が成り立つ理由を説明する記述式問題については課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・基本的な生活習慣では、「朝食を毎日食べている」「毎日同じ時間に寝ている」と答えた本校の生徒数の割合は、全国を上回っており、朝食摂取の習慣や生活習慣の定着が見られます。
- ・「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と答えた生徒数の割合は、全国を大きく上回っており、キャリア教育を中心とした取組が功を奏し、自己肯定感や自尊感情が高まっている現状がうかがえます。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と答えた生徒数の割合は全国と同程度で、「人が困っているときは進んで助けている」と答えた生徒数の割合は、全国を大きく上回っていました。
- ・家庭学習では、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた生徒数の割合が全国を下回っています。また、「1日の家庭学習時間が1時間以上である」と答えた生徒数の割合が全国を大きく下回っていました。
- ・家庭生活では、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と答えた生徒数の割合は、全国を上回っていました。一方で「携帯電話、スマートフォンやコンピュータを持ってはいるが、約束はない」「普段(月～金曜日)1日あたり2時間以上、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をする」と答えた生徒数の割合が全国より高く、課題が見られました。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・国語、数学の結果から、基礎的・基本的なことが十分に身に付いていない領域がありました。そこで、授業では引き続き、教師2人によるTT授業を行い、きめ細かな指導による学習内容の定着を図ります。また、各教科において、ICT機器を活用し学習内容を視覚的に捉えさせたり、1人1台タブレットを用いた教材や学習活動などを効果的に取り入れたりして、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めていきます。
- ・家庭学習の習慣化にむけて、各教科で家庭学習の課題の内容や提示の仕方を工夫し、学習習慣の定着を図っていきます。
- ・自尊感情の向上や、マナー検定を始めとするキャリア教育の充実にも引き続き取り組んでいきます。
- ・ご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習時間をつくってください。【学習時間：学年＋1時間】

◎学習する時間や時間帯を決め、取りまわせることで学習習慣を身に付けさせましょう。

◎スマートフォンやゲーム機などの利用は、家庭での約束を大切にして、長時間にならないようにしましょう。

◎各教科ごとに間違った問題やテスト直し等復習を中心とした学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を上手に使いましょう。

◎早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。

◎学校での出来事や読んでいる本の内容について話し合しましょう。

◎将来の夢や就きたい職業等について話し合しましょう。

3 がんばっていることや良くできたことをほめて、自尊感情を高めていきましょう。